

施策番号	2203		
施策名	歴史的な町並みや京町家等の保全		
概要	京都のまちや歴史，文化の象徴ともいえる京町家や大規模邸宅等の景観資産について，景観重要建造物等への指定や外観修景を行うなどにより，風情ある京都の町並みを次の世代に継承していく。		
担当局・部室	都市計画局・都市景観部	共管局・部室	
上位政策	22 景観		
施策に関する 主な分野別計画等	京都市景観計画，京都市歴史的風致維持向上計画，京町家再生プラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		27年度	28年度	29年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	地域の景観を形成する核となる建造物等の指定数(件)	d	b	111	123	125	98.4%	b	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		d	b	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価 *この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		27年度	28年度	29年度回答					
				そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数
1	京都のくらしや文化を伝えている京町家が継承されている。	b	b	82 15.7%	234 44.9%	129 24.8%	58 11.1%	18 3.5%	521
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		b	b	市民生活実感調査総合評価					b

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	☐ 客観指標	b	☒ 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 京都らしい景観を守るため、地域の景観を形成する重要な要素である京町家を指定制度も活用しながら保全していることを市民が実感し、景観の保全につながっていると感じる事が重要であることから、市民の実感に重み付けを行った。						28年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。						27年度	C
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		29年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		28年度 決算額	29年度 予算額		
1	伝統的建造物群保存等事業	51,178	47,988	良い	都市計画局
2	歴史的町並み再生事業	121,907	160,323	良い	都市計画局
3	歴史的建築物保存・活用推進事業	22,483	29,037	かなり悪い	都市計画局
4	京町家保全・活用推進事業	49,347	76,965	悪い	都市計画局
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・今後、京都のまちの歴史、文化の象徴ともいえる京町家や大規模邸宅等の景観資産について、景観重要建造物等への指定をより積極的に行い、それらを通じ、京都のくらしや文化を次の世代に引き継いでいく。

・そのため、景観重要建造物や歴史的風致形成建造物への指定の向上に向けて、関係部署・機関と情報共有を行い、指定建造物候補の所有者に対して、積極的かつ丁寧な説明を行う。

・また、京町家を次世代に適切に継承していくため、京町家の取り壊しの危機を事前に把握し、保全及び継承に繋げるための条例を制定するとともに、京町家所有者と活用希望者のマッチング制度等の新たな支援策を構築していく。

施策名	2203	歴史的な町並みや京町家等の保全				
指標名	地域の景観を形成する核となる建造物等の指定数（件）					
担当課	景観政策課		連絡先	2 2 2－3 3 9 7		
1 指標の説明						
地域の景観を形成する重要な要素となっている建造物について，景観重要建造物及び歴史的風致形成建造物等に指定された数						
2 指標の意味						
地域の景観を形成する重要な要素となっている建造物の保全数を示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値 27年度	最新数値 28年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	111	123	12件増	125	中長期目標を達成するために当年度達成すべき数値	98.4%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	全国1位	180件	32年度	68.3%	京プラン実施計画 第2ステージ	
5 評価基準						
目標値に対する達成度が， a：100%以上 b：80%～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満						
6 基準説明						
単年度目標に対する達成度が100%以上の場合をaとし，以下20%刻みで基準を設定した。						
7 評価結果						
27		28		29		
d		b		b		